

第12回 学問とは何か？（2月18日火曜日）

こんにちは。

長崎大学人、河野茂です。

プラネタリーヘルス宣言後、私は若手数名の教員とともに、プラネタリーヘルスという概念やその体系について論文をベースに、週に一度のペースで学んでいます。

プラネタリーヘルスは、大変大きな領域でもあり、様々な分野に深く関わる＜学問＞とも呼べる体系で、これこそ大学で学び追及する分野ではないかと感じております。

大学とは、いうまでもなく＜学問＞をすることです。

小中学校、高校と異なり、答えのはっきりしない＜問い＞に対して、

果敢に挑戦してゆく学府が、大学と思います。

例えば、今問題になっているコロナウイルスに関して、様々な＜問い＞があります。

感染源は何か？

感染経路はどうなっているか？

経済へ与える影響は？

国家間の危機管理体制は？

医学だけでなく、多くの分野にたくさんの＜問い＞があります。

そして、その<問い>次第で、追及の仕方（いわゆる研究方法）が異なり、

答えが異なってきます。

何を言いたいかという、<問い>が重要なのです。

素晴らしい研究結果には、素晴らしい<問い>が立っています。

逆に、つまらない研究は、<問い>自体がはっきりしません。

<研究で最も大切なのはリサーチクエスチョン>

とよく言われますが、私もそうだと思います。

<問い>を立てる力が重要で、その力を身に付ける場が大学だと思います。

このメールを部署の皆さんに転送し、ぜひ、まわりで議論してみてください

い。ご意見をお待ちしております。

気軽にメールしてください。